

時	学習活動	観点		児童の思考の流れ	評価	
		関	考技知		◇評価規準	★資質・能力(評価方法)
1	<p>課題の設定 本時の目標：単元課題を通して、疑問をもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボードに折り鶴を敷き詰めた折り鶴アートを作るための単元課題から、条件に合った作り方の求め方や表現の仕方を考える必要があることに気付き、解決に向けての見通しを持つ。 ○面積も折り鶴の数も違うから、どうやって比べたらいいのだろう。 ・学習の見通しをもつ。 ○学習計画を立てる。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ・折り鶴アートで平和への祈りを伝えたい。 ・村上先生に言われたアートを作ろうと思ったら、AとBのどちらの条件で作ったらいいのだろう。 ・どうやったら比べられるのか調べたい。 	◇単元課題から、二種の異なる単位量の比較に関心を持ち、その方法について考えている。（行動観察、ノート）	★課題解決に向けて、自分の考えや意見を進んで表現している。（行動観察、ワークシート）【主体性】
<p>(単元課題) 平和への祈りをこめた折り鶴アートを作ります。今、先生は2つの案を考えています。 A：1500cm²のボードに、1200羽の鶴を折る B：2000cm²のボードに、1500羽の鶴を折る ただし、先生はボードの中にぎっしりと折り鶴をしきつめてほしいです。 AとBのどちらを選んだ方がいいでしょうか。式・図・言葉を使って説明して下さい。</p>						
2	<p>情報の収集① 本時の目標：単位量あたりに着目する考えを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぎっしりと敷き詰める」というイメージを持つために、社会見学の昼食時に使うレジャーシートの数と座る子供の数からそれぞれの混み具合を考える。 ○シートの数と子供の数も違うシートの混み具合は、どうやって比べたらよいのだろう。 ○シート1枚あたりの人数で比べたらよい。 ○子供一人あたりのシートの数で比べたらよい。 ○どちらか一方の量を1にそろえて比べたらよい。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ・シートの数や子供の数が同じだったら、混み具合が比べられるけど、違ったら比べられない。 ・シート1枚あたりの人数で比べたら、混み具合が分かった。 ・子供一人あたりのシートの数で比べたら、混み具合が分かった。 ・どちらかの量を1にそろえたら、混み具合を比べることができた。 ・他の場合ではどうなんだろう。 	◇単位量あたりに着目する考えを説明することができる。（行動観察、ノート）	★課題解決に必要なことを理解して筋道を立てて考え、式・図・言葉を相互に関連付けて表現している（行動観察、ノート）【論理的思考力】
3	<p>情報の収集② 本時の目標：日常生活で単位量あたりの考え方が用いられる場面を知り、これを用いて、2つの観点から量の大きさを比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会見学で乗るバスを選ぶ際に2台のバスのガソリンの量と走る道のりから、「どちらかの量を『1』に揃えて比べる」という「単元をつらぬくアイデア(本質)」を使って解くことの手続きを知り活用する。 ・単位量あたりの大きさを調べて比べることが日常生活には多くあることを知る。 ○二台のバスのガソリンの量と走る道のりを比べるには、どうしたらよいのだろう。 ○ガソリン1Lあたりで走れる道のりで比べたらよい。 ○1km走るのに使うガソリンの量で比べる。 ○どちらか一方の量を1にそろえて比べたらよい。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンの量や道のりが同じだったら、比べられるけど、違ったら比べられない。 ・ガソリン1Lあたりで走れる道のりで比べたら、分かった。 ・1km走るのに使うガソリンの量で比べたら、分かった。 ・どちらかの量を1にそろえたら、比べることができた。 ・2つの量が違って、どちらかの量を1にそろえたら比べることができないのではないか。 ・他の場合でも比べることができそうだ。 	◇単位量あたりの考えを使って、2つの観点から、量の大きさを比べることができる。（行動観察、ノート）	◇日常生活に単位量あたりの考えがあることを理解する。（行動観察、ノート）
<p>★意見交流を通して「自分や友達の考えの良さ」や「自分の誤り」に気付き、表現したり、修正したりしている。（行動観察、ノート）【自己理解】</p>						

4	整理・分析 本時の目標：人口密度について理解し、大きさを比べる。 ・広島県と長崎県を比べる際に、人口密度について考え、「単元をつらぬくアイデア（本質）」が活用できることに気付く。 ○平和について調べる中で、広島県と長崎県の混み具合を調べよう。 ○面積のわりに人口が多いのは、どちらの県なのか考えよう。 ○1 k m ² あたりの人口で比べたらよい。 ○1 k m ² あたりの人口を人口密度という。				○・広島県と長崎県の面積と人口はどうやって比べたらよいのだろう。 ・1人あたりの面積で比べるよりも1 k m ² あたりの人口で求めた方が計算しやすい。 ・人口密度も、今まで習ったことを使ったら求めることができた。 ・もう、どんな問題がでてきても解けそうだ。	◇人口密度の意味について理解する。（行動観察・ノート） ★振り返りの場面でお互いの考えの良さを伝える姿や自分の説明で他の児童を納得させることができている。（行動観察、ノート） 【自らへの自信】
5	まとめ・創造・表現・振り返り① ・学習してきたことを活用して単元課題を解決する。 ○AとBのどちらの折り鶴アートを作ればいいのか考えよう。 ○1羽あたりの面積で比べたらよい。 ○1 m ² あたりの折り鶴の数で比べたらよい。 ○どちらの案で折り鶴アートを作るか提案しよう。				・AとBのどちらの案で折り鶴アートを作れば、条件に合うだろう。 ・1羽あたりの面積で比べてみよう。 ・1 m ² あたりの折り鶴の数で比べてみよう。 ・やっぱり、どちらかの量を1にそろえたら、比べることができた。	◇条件に合う案を単元をつらぬくアイデア（本質）を使って、考えている。（行動観察、ノート） ★資質・能力が全て発揮されている（行動観察、ノート） 【主体性】 【論理的思考力】 【自己理解】 【自らへの自信】
6	まとめ・創造・表現・振り返り② <div style="border: 1px solid black; background-color: #e0ffe0; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">パフォーマンス課題</div> ・パフォーマンス課題を解き、単元について振り返る。					◇パフォーマンス課題を解くことができている。（パフォーマンス課題） ★既習したことを生かして、主体的にパフォーマンス課題に挑戦している。（パフォーマンス課題） 【主体性】

8 パフォーマンス課題

(パフォーマンス課題)

平和への祈りをこめた折り鶴アートを作ります。今、先生は2つの案を考えています。
 A: 1200 cm²のボードに、1500羽の鶴を折る B: 1500 cm²のボードに、2000羽の鶴を折る
 ただし、先生はボードの中にぎっしりと折り鶴をしきつめてほしいです。
 AとBのどちらを選んだ方がいいでしょうか。式・図・言葉を使って説明して下さい。

9 パフォーマンス課題の評価基準

1	2	3
・どちらのボードを選べばいいかを正しく求められない。	・どちらのボードを選べばいいかを単元をつらぬくアイデア（本質）を活用して求めることができる。	・どちらのボードを選べばいいかを算数カードや式・図・言葉や単元をつらぬくアイデア（本質）を活用して求めることができる さらに、2量の比例関係にも着目して説明することができる。